

Hitachi Koki

POWER TOOLS for PROFESSIONAL

取扱説明書

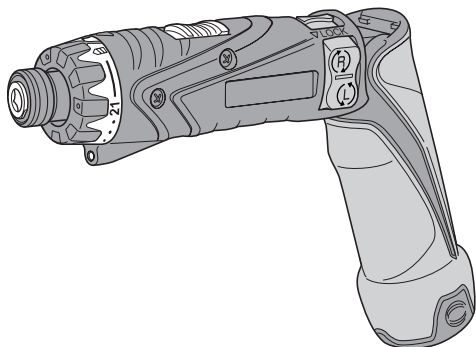
用途

- 小ねじ・木ねじなどの締付け、取りはずし
- 鉄工ドリルで金属の穴あけ

日立 コードレスドライバドリル

3.6V DB 3DL2

このたびは日立コードレスドライバドリルをお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



| | |
|-------------------|----|
| コードレス工具の安全上のご注意 | 1 |
| 本製品の使用上のご注意 | 5 |
| リチウムイオン電池の使用上のご注意 | 6 |
| 各部の名称 | 8 |
| 仕様 | 9 |
| 別売部品 | 10 |
| 各種先端工具のご紹介 | 10 |

はじめに

| | |
|------------|----|
| 基本機能について | 11 |
| 充電する | 13 |
| ねじを締める/はずす | 15 |
| 穴をあける | 17 |




使い方


| | |
|---------|-----|
| 保守・点検 | 20 |
| ご修理のときは | 裏表紙 |


その他


HITACHI


警告、 注意、 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「 警告」、「 注意」、「 注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

 **注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

② 正しく充電してください。

- この充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 温度が 0℃ 未満、または温度が 40℃ を超える場合は、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。また、破裂や火災の恐れがあります。
- 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災の恐れがあります。

③ 蓄電池の端子間を短絡させないでください。

- 釘袋などに入れると、短絡して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。

警告

④ 感電に注意してください。

- ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。
感電の恐れがあります。

⑤ 作業場の周囲状況も考慮してください。

- 工具本体・充電器・蓄電池は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。

⑥ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

⑦ 加工するものをしっかりと固定してください。

- 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手で工具本体を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工するものが飛んで、けがの原因になります。

⑧ 次の場合は、工具本体のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

- 使用しない、または、修理する場合。
- 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。
工具本体が作動して、けがの原因になります。

⑨ 不意な始動は避けてください。

- スイッチに指を掛けて運ばないでください。
工具本体が作動して、けがの原因になります。

⑩ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
事故やけがの原因になります。

⑪ 蓄電池を火中に投入しないでください。

- 破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

⚠ 注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業者以外、工具体体や充電器のコードに触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - 工具体体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の内車など）に保管しないでください。蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率よく作業するために、工具体体の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ **作業に合った工具体体を使用してください。**
 - 小形の工具体体やアタッチメントは、大形の工具体体で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- ⑧ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
 - 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。
- ⑨ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。

⚠ 注意

- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
- 充電器のコードは、定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- 充電器に延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。

⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。

- スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。

⑪ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⑫ 油断しないで十分注意して作業をしてください。

- コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

⑬ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落したり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない工具本体は、使用しないでください。異常動作して、けがの原因になります。

⑭ コードレス工具の修理は、専門店に依頼してください。

- サービスマン以外の方は、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。発火したり、異常動作して、けがの原因になります。
- 工具本体が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにお申し付けください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスドライバドリルとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- ① 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
 - 埋設物があると先端工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ② 使用中は、工具本体を確実に保持してください。
 - 確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ③ 使用中は、ビットやドリルなどの回転部に手や顔などを近づけないでください。
 - けがの原因になります。
- ④ 使用中に異常音や異常振動など工具本体の調子に異常を感じたときは、直ちにスイッチを切り、点検・修理に出してください。

⚠ 注意

- ① 工具類(ビットやドリルなど)や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - 確実にでないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
 - 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- ③ 穴あけ直後のドリルや切りくずは高温になっているので、触れないでください。
 - やけどの原因になります。
- ④ 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
 - 材料や工具本体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑤ 細径のドリルは折れやすいのでご注意ください。
 - 飛散して、けがの原因になります。
- ⑥ 蓄電池は確実に取付けてください。
 - 確実にでないと、蓄電池が抜け落ちて、けがの原因になります。
- ⑦ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないでください。
- ⑧ 蓄電池は乳幼児の手の届かない所に保管してください。
- ⑨ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。(NN仕様除く)
リチウムイオン電池の寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能がついています。

本製品を使用中、スイッチを引いたままでも下記 ①、②の場合、モーターが停止する場合がありますがこれは保護機能によるものであり故障ではありません。

① 電池残量が少なくなると(電池電圧2.4Vまで低下)モーターが停止します。
このときは速やかに充電してください。

② 本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
このときはいったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取除いてください。

再びご使用になれます。

さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

蓄電池の漏液、発熱、発煙、発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず守ってください。

- ① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - ・作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - ・作業中に工具体体にたまった切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - ・蓄電池を使用しないとき切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
 - ・保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品(ねじ、釘など)とは別々にしてください。
- ② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ④ (+)(-)を逆にして使用しないでください。
- ⑤ 蓄電池を直接、コンセントや車のシガレットコンセントに接続しないでください。
- ⑥ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑦ 充電の際に所定の充電時間を大幅に超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
- ⑧ 蓄電池を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。
- ⑨ 蓄電池が漏液したり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑩ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。

警告

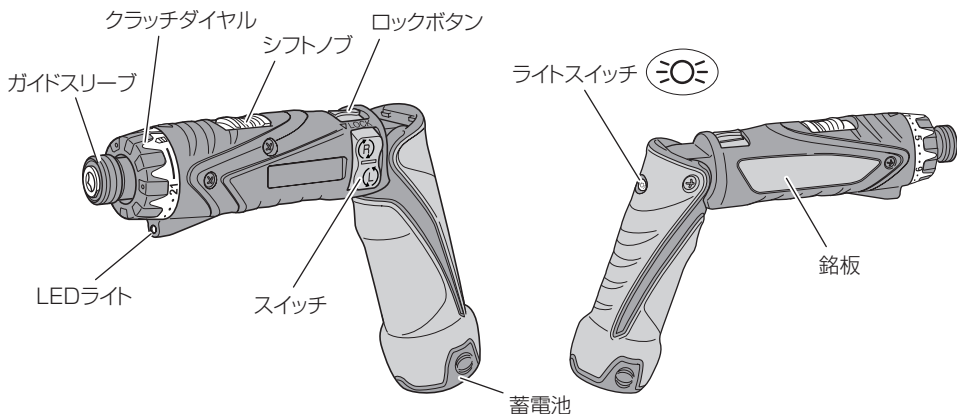
- ⑪ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱、変色、変形その他今までと異なる事に気がついたときは、直ちに使用機器あるいは充電器より取り出して使用しないでください。

注意

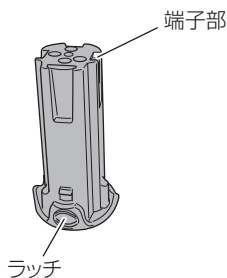
- ① 蓄電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
 - 放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が漏液して液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
 - 皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
- ③ お買い上げ後、初めて使用する際、さびや異臭、発熱、その他異常と思われるときは、使用しないでお買い上げの販売店にご持参ください。

各部の名称

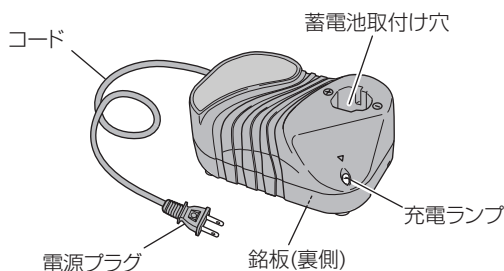
工具本体



蓄電池



充電器



標準付属品

| 品名・形名 | 仕様 | 2 LCSK | NN |
|------------------------|---------|----------------------|-----|
| 蓄電池 | EBM 315 | 2 個 (本体装着 1、予備 1) | — |
| 充電器 | UC 3SL | 1 台 | — |
| ビット (No. 2 プラスドライバビット) | | 1 本 | 1 本 |
| 収納ケース | | 1 個 | — |

仕 様

1. 工具本体仕様

| 形 名 | | DB 3 DL 2 |
|-----------------------------|---|--|
| 能力 | 穴 あ け | 鋼材：直径 5 mm |
| | ね じ 締 め | 小ねじ：5 mm 木ねじ：呼び径 3.8 mm×長さ 38 mm |
| 締付け トルク | 1 | 約 0.3 N・m { 3 kgf・cm} |
| | 5 | 約 0.8 N・m { 8 kgf・cm} |
| | 9 | 約 1.4 N・m { 14 kgf・cm} |
| | 13 | 約 1.9 N・m { 19 kgf・cm} |
| | 17 | 約 2.4 N・m { 24 kgf・cm} |
| | 21 | 約 2.9 N・m { 30 kgf・cm} |
| |  | 低速：約 5 N・m { 51 kgf・cm} 高速：約 1.5 N・m { 15 kgf・cm} |
| 無 負 荷 回 転 数 [気温 20℃満充電時] | | 低速：200 min ⁻¹ {回／分} 高速：600 min ⁻¹ {回／分} |
| モ ー タ ー | | 直流モーター |
| 先 端 形 状 | | 二面幅 6.35 ビット挿入形状 |
| 蓄 電 池 | | 円筒密閉形リチウムイオン電池 |
| 電 池 電 圧 | | 3.6 V |
| 質 量 | | 0.45 kg (EBM 315 装着時) |
| L E D ラ イ ト | | 白色LED |

2. 充電器仕様

| 形 名 | UC 3SL |
|---------|----------------------------|
| 入 力 電 源 | 単相交流 50 / 60Hz 共用 電圧 100 V |
| 充 電 時 間 | EBM 315 …約 18 分(気温 20℃時) |
| 充 電 電 圧 | 3.6 V |
| 充 電 電 流 | 6.0 A |
| コ ー ド | 2 心ビニールコード |
| 質 量 | 0.3 kg |
| 使用温度範囲 | 0℃～40℃ |

3. 蓄電池仕様


| 形 名 | EBM 315 |
|---------|---------------------|
| 容 量 | 1.5 Ah { 1500 mAh } |
| 冷 却 | 非対応 |
| 残量表示ランプ | なし |

別売部品 (別売部品は生産を打ち切場合がありますので、ご了承ください。)

詳しくはお買い求めの販売店または日立工機の全国営業拠点 (裏表紙参照) にお問い合わせください。

プラスドライバビット

ビットNo.は2種類で用意しています。

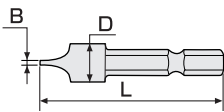


| ビットNo. | L (mm) |
|--------|--------|
| | 45 |
| No. 2 | 65 ※ |
| No. 3 | 110 |
| | 150 |

※標準付属品 (ビットNo. 2)

ドライバビット

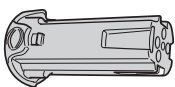
マイナスねじ用ビットです。



| 品 名 | B (mm) | D (mm) | L (mm) |
|--------------|--------|--------|--------|
| ドライバビット 4 mm | 0.8 | 7 | 50 |
| | | | 70 |
| ドライバビット 6 mm | 1 | 9 | 50 |
| | | | 70 |

3.6 V 蓄電池

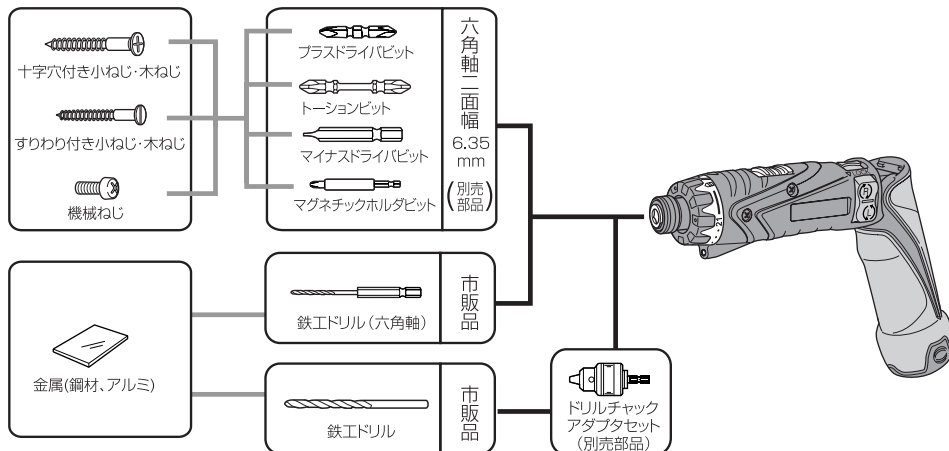
予備電池としてご利用ください。



EBM 315

各種先端工具のご紹介

用途に応じた先端工具 (アタッチメント) をご使用いただくことで、いろいろな作業にご利用できます。詳しくは、お買い求めの販売店または日立工機の全国営業拠点 (裏表紙) にお問い合わせください。



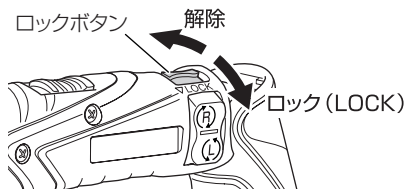
基本機能について

●ロックボタンについて

あやまってスイッチを押してもモーターが起動しないようにロックボタンが付いています。

注 次の場合必ず、ロックボタンをロック (LOCK) の位置にしてください。

- ・使用しないとき
- ・先端工具を取付け・取りはずすとき
- ・手まわしドライバとして使用するとき (P12「手まわしドライバとしての使い方」参照)

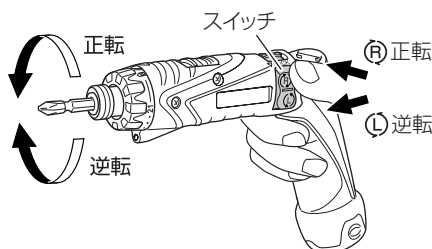


●スイッチの使い方

ロックボタンを解除して、スイッチの(R)側を押すと正転、(L)側を押すと逆転します。

注 ロックボタンがロック (LOCK) になっているときは、スイッチが入りません。

ロック (LOCK) になったまま、強くスイッチを押しますと故障の原因になります。



●LEDライトの使い方

⚠ 注意

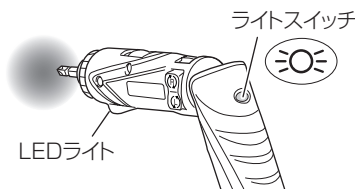
ライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目に当てないでください。

ライトの光が連続して目に当たると目を傷める原因になります。

ライトスイッチを押すたびにLEDライトが点灯・消灯します。

蓄電池の消耗防止のため、こまめに消灯してください。

注 LEDライトは蓄電池電圧が低下すると自動で消灯するようになっています。そのような場合は使用をいったん中止し、蓄電池を充電してください。

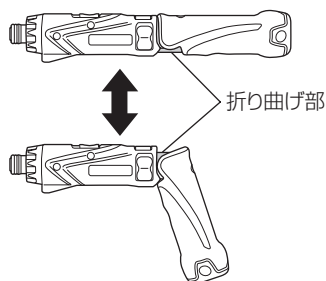


●ストレート/ピストル型の使い方

⚠ 注意

本体を折り曲げてピストル型にするとき、またストレート型にもどすときは本体の折り曲げ部分を持たないでください。

手が折り曲げ部分にはさまれてけがをする恐れがあります。



狭い場所での作業にはストレート型、その他の場所ではピストル型などと、作業用途に応じて使い分けができます。

型を変えるときは「カチッ」と音がするところまで、伸ばして(曲げて)ください。

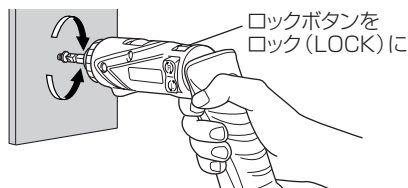
●手まわしドライバとしての使い方

手まわしドライバとしても使える手締め機能が付いています。ロックボタンをロック (LOCK) にして本体を手でまわしてください。締付け確認や不意な電池切れの際に便利です。

注 • 5 N・m { 51 kgf・cm } 以下でご使用ください。

- 無理な締付けや、さびついたねじの無理な取りはずしなどはしないでください。

故障の原因になります。



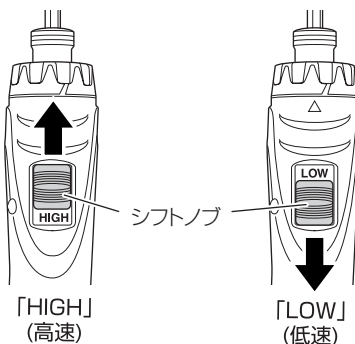
●シフトノブで回転数切替 (HIGH/LOW)

速い回転でねじ締めを行いたいときは、シフトノブを「HIGH」(高速)へ、ゆっくりした回転で行いたいときは「LOW」(低速)へ切替えます。

注 • シフトノブで回転数を切替えるときは、必ずスイッチを切り、モーターが停止していることを確かめてください。

モーターの回転中に回転数を切替えると、故障の原因になります。

- 大きな力が必要な作業の場合 (クラッチダイヤル (P16 参照) が 10 以上のとき) は、シフトノブを「LOW」側に切替えてご使用ください。無理して「HIGH」側で使用すると、モーターの回転が停止して故障する原因になります。



充電する

ご使用前、新品時、長期間ご使用にならなかったとき、残量が残りに少なくなったときは、次のように充電してください。

1

電源を確認する

この充電器は交流 100 V 用です。
200 V 電源に接続すると、充電器が異常に発熱し、故障します。
また、直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。

2

コンセントを確認する

コンセントががたついていたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。
そのまま使用すると危険です。

3

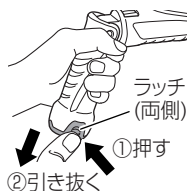
電源プラグを コンセントにさし込む

充電ランプが赤の点滅を繰り返します。
(0.5 秒間隔)
(P14「充電ランプの表示について」参照)

4

蓄電池を充電器にさし込む

取りはずすとき



- 右図のように蓄電池と充電器の ⊕ ⊖ マークの向きを合わせて、充電器の底に当たるまでしっかりとさし込んでください。
- 充電を開始すると充電ランプが赤に点灯します。

⚠ 警告

手順 ①、② については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

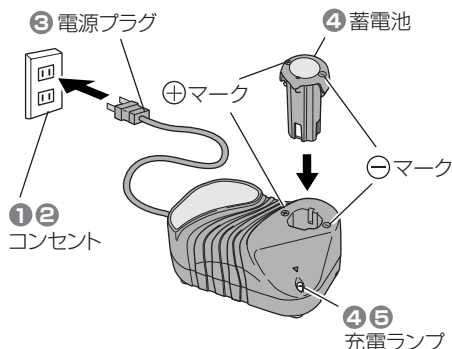
5

充電が終わったら

- 充電されると充電ランプが赤の点滅 (0.5 秒間隔) でお知らせします。
- 電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。

注

- 蓄電池をさし込んでも、充電ランプが赤に点灯しない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、蓄電池の取付けが確実かどうか、確かめてください。
- 新品時や長期保管しておいた電池は、充電時間が長くなることがあります。2～3 回の充放電を繰り返すと正常な状態に戻ります。



充電時間：約18分

注

充電時間は周囲温度や蓄電池の状態により長くなることがあります。

●充電ランプの表示について

| | | | | |
|-------------------------|------|----------------|-------|--|
| 充電ランプ が赤に点灯 または点滅 | 点 滅 | 0.5 秒点灯／消灯 | 充 電 前 | |
| | 点 灯 | 連 続 点 灯 | 充 電 中 | |
| | 点 滅 | 0.5 秒点灯／消灯 | 充電完了 | |
| | 速い点滅 | 0.1 秒点灯／消灯 | 充電不可 | |
| 充電ランプ が緑に点灯 | 点 灯 | 連 続 点 灯 | 電池高温 | 蓄電池または充電器に 異常あり 蓄電池温度が高くて 充電できない (蓄電池の温度が下がると 充電を開始します) |

注 充電ランプが赤の速い点滅 (0.1 秒間隔) を繰り返すときは、蓄電池の取付け穴に異物が入っていないかどうか確認してください。異物が入っていたときは取除いてください。異物が入っていないときは、充電器または蓄電池に異常があると考えられるので、充電器と蓄電池の両方を、お買い求めの販売店にご持参ください。

●蓄電池を長持ちさせるコツ

- ・蓄電池が空 (から) になる前に充電
工具の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのをやめ、充電します。
無理に使い続けると、蓄電池が痛み、寿命を短くします。
- ・高温時の充電は避ける
工具を使用した直後の蓄電池は熱くなっていますので、蓄電池が少し冷めてから充電します。すぐ充電すると蓄電池の寿命を短くします。

●充電器と蓄電池の取扱いについて

- ・一度充電が完了した後、次の充電まで 15 分程度充電器を休ませてください。
同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。
- ・使用後は充電器から蓄電池を抜いて保管してください。

●蓄電池の寿命について

- ・正しい充電をしても、蓄電池の使用時間が著しく低下してきたときは、蓄電池の寿命がきたものとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。
寿命のきた蓄電池をそのまま使用していると、蓄電池だけでなく、充電器故障の原因になります。
- ・蓄電池の寿命がきたものは、リサイクルしますので廃棄しないで、お買い求めの販売店にご持参ください。

○新しい蓄電池は、当社純正品をご使用ください

当社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物 (蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます) は、安全性や製品に関する保証はできません。

ねじを締める／はずす

小ねじ・木ねじなどの
締付け、取りはずし

1

蓄電池を取りはずす

誤操作防止のため、
ロック(LOCK)の
位置にして、蓄電
池を工具本体より
抜いてください。

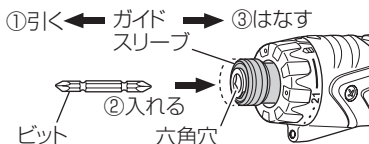


⚠ 注意

ねじ締め、ねじはずし直後のねじやビ
ット、ガイドスリーブは高温になって
いるので触れないでください。

2

ビットを取付ける

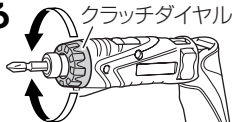


Sタイプのビットを取付けるには、
P19「Sタイプビットの取付け方」を
参照してください。

注 ビットを取付け、ガイドスリーブが
元の位置に戻らないときは、取付け
が不確実です。ビットが六角穴の奥
に突き当たるまで入れてください。
作業中にビットが抜けたり、取りは
ずせなくなることがあります。

3

クラッチダイヤルを 合わせる



右ページの

クラッチダイヤルを上手に使う
を読んでください。

4

作業を開始する前に、右ページの
ねじ締め作業のコツ
を読んでください。

5

蓄電池を取付けて ロックボタンを解除する

- 図の向きで、
「カチッ」と音が
するまで、しっか
りと押し込んでく
ださい。
- 使用後は必ずロッ
ク (LOCK) の位置
にしてください。



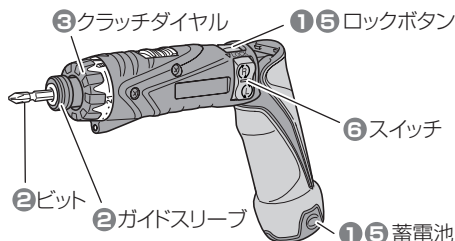
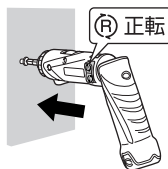
ロック (LOCK)



6


スイッチの正転 (R) 側を 押す

ねじの頭からビット
がはずれない程度
の力で押付けます。

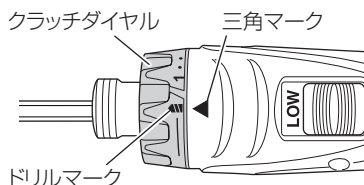



●クラッチダイヤルを上手に使う

目盛り数値が大きくなるほど大きな力でねじ締め（またはねじはすし）ができます。

必要以上に力がかかると、クラッチが動作して（カチャカチャと音がする）ねじの締めすぎを防止します。三角マークと目盛り「1～21」または黒丸、ドリルマーク「」が合うようにクラッチダイヤルを回します。


ねじの締めすぎのない作業を行うには、目盛りの数値を小さい方から少しずつ大きくして、締付けぐあいを確認しながら行ってください。目盛りが10以上のときは、シフトノブ（P 12 参照）を「LOW」にして使用してください。



| | | | |
|-------|---|-------|------------|
| 目 盛 り | 1・・・5・・・9・・・13・・・17・・・21 ————  | | |
| シフトノブ | HIGH または LOW | LOW | |
| 作業の目安 | 小ねじの締付けや、やわらかい木材 | かたい木材 | 使用不可 太い木ねじ |

●ねじ締め作業のコツ

●下穴をあけずに、直接木材に木ねじを締めるときは、金づち等で軽く木ねじを木材に打ちつけてから、締付けるとねじがぐらつかずスムーズな作業ができます。

●ねじをはすすときはスイッチの  側を押して逆転にしてください。

●ねじを傷めないコツ

本体後方から軽く荷重をかけながらねじ締め（またはねじはすし）すると、ねじの頭を傷めずに行えます。

●ねじの径より少し細いドリルで下穴をあけておくと木材に割れが入ったりせず、作業がらくにできます。下表を参考にしてください。

| 木ねじ呼び径 (mm) | 下穴径 (mm) |
|-------------|----------|
| 3.1 | 2.0～2.2 |
| 3.8 | 2.2～2.5 |

●ねじが締付けられる数は

工具本体の1充電当たりの作業量の目安を示します。（作業量は、使用環境、材料の種類、硬さなどにより異なりますので、目安とお考えください。）

| 作 業 | 内 容 | 締付けられる数 |
|------|---------------------------------|---------|
| ねじ締め | 呼び径 3.5 mm × 長さ 20 mm (木ねじ・米松材) | 約 80 本 |
| | 呼び径 3.8 mm × 長さ 38 mm (木ねじ・米松材) | 約 35 本 |

●ねじ締め作業が可能な範囲

材料の種類、硬さなどにより異なりますので、目安とお考えください。

| 作 業 | クラッチダイヤル | 作業可能範囲 | 注意事項 |
|-------|--|-----------------------|---------------------|
| ねじ締め | 1～21 | ねじ径 5 mm | ねじ径に合ったビットをご使用ください。 |
| 木ねじ締め | 1～  | 呼び径 3.8 mm × 長さ 38 mm | なるべく下穴をあけて作業してください。 |

穴をあける

鉄工ドリルを使用して、金属に穴あけ

1

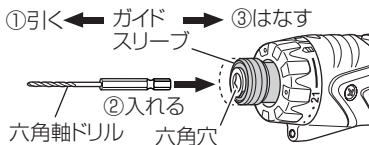
蓄電池を取りはずす

誤操作防止のため、
ロック(LOCK)の
位置にして、蓄電
池を工具本体より
抜いてください。



2

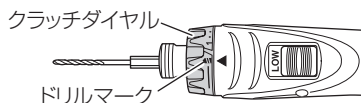
ドリルを取付ける



注 ドリルを取付け、ガイドスリーブが元の位置に戻らないときは、取付けが不確実です。ドリルが六角穴の奥に突き当たるまで入れてください。作業中にビットが抜けたり、取りはずせなくなる場合があります。

3

クラッチダイヤルをドリル マーク に合わせる



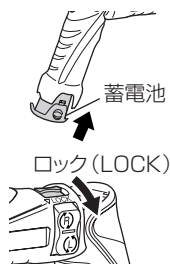
4

作業を開始する前に、右ページの
金属へ上手に穴をあけるコツ
を読んでください。

5

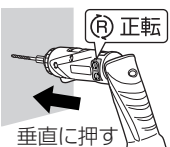
蓄電池を取付けて ロックボタンを解除する

- 図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。
- 使用後は必ずロック (LOCK) の位置にしてください。



6

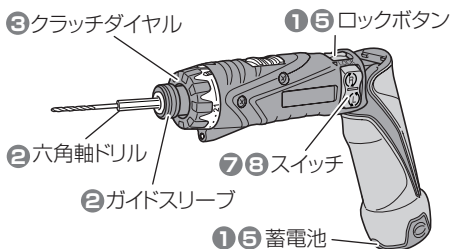
**スイッチの
正転 (R) 側を
押す**




7

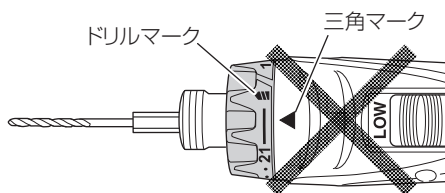
材料からドリルを抜く


スイッチを入れたまま（回転したまま）
ドリルを引き抜いてください。
または、いったんスイッチを切り、ス
イッチの逆転（L）を押して引き抜いて
ください。



●穴あけ時のクラッチダイヤルについて

ドリルとして金属に穴あけする場合は、ドリルマーク「」を三角マークにあわせませす。



注 三角マークが「21」とドリルマーク「」の間に位置した状態では、使用しないでください。
故障の原因になります。

●金属へ上手に穴をあけるコツ

市販のセンタポンチを使用する

鉄工ドリルの先がすべらず、決まった位置に穴あけができます。



さらに

鉄工ドリルの先に機械油か石けん水を付ける

穴があけやすくなります。

⚠ 注意

穴あけ直後のドリル、ガイドスリーブは高温になっているので触れないでください。

- 注**
- 金属に穴をあける場合、穴の抜けぎわに大きな力がかかります。穴の抜けぎわは、工具本体の押し付けを弱めてください。
 - 必要以上に力をかけても決して早く穴はあきません。刃先を傷めて作業効率が低下したり、ドリルを折ってしまうことがあります。
 - 無理な力をかけ、回転を停止させないでください。数秒間停止し続けると、モーターやスイッチの故障および蓄電池の寿命を著しく短くする原因になります。
 - 大きな力が必要な作業の場合は、シフトノブを「LOW」側に切替えてご使用ください。(P12 参照)


●穴があけられる数は

工具本体の1充電当たりの作業量の目安を示します。(作業量は、使用環境、材料の種類、硬さ、ドリルの切れ味などにより異なりますので、目安とお考えください)

| 作 業 | 内 容 | 穴があけられる数 |
|-----|----------------------------|----------|
| 穴あけ | 直径 2.0 mm × 厚さ 1.0 mm (鋼材) | 約 210 個 |
| | 直径 5.0 mm × 厚さ 1.0 mm (鋼材) | 約 35 個 |

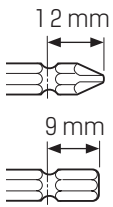
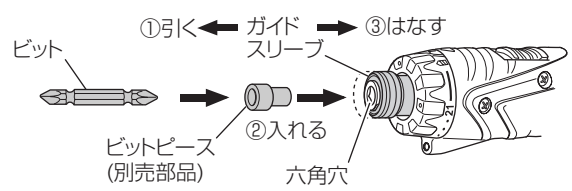
●穴あけ作業が可能な範囲

材料の種類、硬さなどにより異なりますので、目安とお考えください。

| 作 業 | クラッチダイヤル | 作業可能範囲 |
|-----|---|---------------------------|
| 穴あけ |  | 鋼 材：ドリル径 5 mm (板厚 1.0 mm) |

●Sタイプビットの取付け方

標準付属品および当社指定のビットのサイズはLタイプです。Sタイプのビットを取付ける場合はビットピース (別売部品) が必要です。下表の手順で確実に取付けてください。

| Sタイプのビットのサイズ | ビットの取付け方 |
|---|--|
|  |  <p>ガイドスリーブを先端側に引いて、ビットピース、ビットの順で六角穴にさし込み、ガイドスリーブをはなします。</p> |

- 注**
- ビットを取付け、ガイドスリーブがもとの位置に戻らないときは、取付けが不確実です。ビットが六角穴の奥に突き当たるまで入れてください。
 - Sタイプにビットピースを取付けないで無理に使用しないでください。作業中にビットが抜けたり、取りはずせなくなることがあります。

保守・点検

⚠ 警告

点検・手入れの際は、必ずロックボタンを (LOCK) の位置にして、蓄電池を工具本体から抜いてください。また、充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●ドリル、ドライバビットの点検

先端部が摩耗したり折損したドリルやドライバビットを使用すると、モーターに無理をかけ、能率が落ちたりねじ頭を傷めますので新品と交換してください。

●汚れをとる

工具本体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●取付ねじの点検

工具本体のねじがゆるんでいないか、点検してください。
ゆるんでいたら、締め直してください。

●保管する

ロックボタンを (LOCK) の位置にして、スイッチが入らないことを確認してください。

長期間 (6 ヶ月以上) ご使用にならない場合は、蓄電池を長持ちさせるために、満充電して保管することをおすすめします。

注 保管場所について

次の場所には保管しないでください。

- お子様の手が届いたり、持ち出せる所。
- 直射日光の当たる所。
- 軒先など雨がかったり、湿気のある所。
- 温度が 50℃ 以上になる高温の場所。
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所。

メ モ

ご修理のときは

この製品は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してお自身で修理をなさらないで買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

ご不明のときは、下記の全国営業拠点にご相談ください。また、部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

蓄電池はリサイクルへ

コードレス工具に使用の蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、最寄りの日立電動工具販売店にご持参ください。

なお、新しい蓄電池は、当社純正品をお使いください。当社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物(蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます)は、安全性や製品に関する保証はできません。



お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

| | | |
|-----------|-------|-----------|
| お買い上げ日 | 年 月 日 | 製造番号(NO.) |
| 販売店 (TEL) | | |

全国営業拠点

■ 日立工機電動工具センターへのご用命は、下記の営業拠点にお問い合わせください。

北海道支店 TEL (011) 896-1740 (代) 〒004-0053 札幌市厚別区厚別中央3条1丁目2番20号
東北支店 TEL (022) 288-8676 (代) 〒984-0002 仙台市若林区卸町東3丁目3番36号
関東支店 TEL (03) 5812-6331 (代) 〒110-0016 台東区台東4丁目11番4号(三井住友銀行御徒町ビル)
中部支店 TEL (052) 262-3811 (代) 〒460-0008 名古屋市中区栄3丁目7番13号(コスモ栄ビル)
北陸支店 TEL (076) 263-4311 (代) 〒920-0058 金沢市示野中町1丁目163番
関西支店 TEL (0798) 37-2665 (代) 〒663-8243 西宮市津門大箇町10番20号
中国支店 TEL (082) 504-8282 (代) 〒730-0826 広島市中区南吉島2丁目3番7号
四国支店 TEL (087) 863-6761 (代) 〒760-0078 高松市今里町1丁目28番14号
九州支店 TEL (092) 621-5772 (代) 〒813-0062 福岡市東区松島4丁目8番5号

「電動工具お客様相談センター」 ☎ 0120-208822 (フリーダイヤル・無料)
※携帯電話からはご利用になれません。 (土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:00)
電動工具ホームページ—<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>



〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号(品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)